

千葉県感染症発生動向調査情報

2017年 第2週 (1/9-1/15) の発生は？

1 定点報告対象疾患(五類感染症)

報告のあった定点数		2週	1週	52週	51週
上段:患者数 下段:定点当たりの患者数 「定点当たりの患者数」とは 報告患者数/報告定点数。	小児科	18	18	16	18
	眼科	5	3	3	5
	インフルエンザ*	28	28	23	28
	基幹定点	1	1	1	1

定点	感染症名	千葉県					千葉県 1/2-1/8 1週
		注意報	1/9-1/15	1/2-1/8	12/26-1/1	12/19-12/25	
			2週	1週	52週	51週	
小児科	RSウイルス感染症		2	0	7	4	19
	咽頭結膜熱		1	1	2	0	17
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		22	11	30	46	198
	感染性胃腸炎		127	81	145	323	598
	水痘		4	7	5	7	67
	手足口病		2	2	2	7	16
	伝染性紅斑		1	1	1	1	16
	突発性発しん		7	4	7	11	32
	百日咳		0	0	1	0	1
	ヘルパンギーナ		0	0	0	0	2
	流行性耳下腺炎	○	10	8	3	9	40
インフル	インフルエンザ*(高病原性鳥インフルエンザを除く)	★★	452	211	102	193	2,654
眼科	急性出血性結膜炎		1	0	0	0	0
	流行性角結膜炎		4	5	0	4	23
基幹定点	細菌性髄膜炎 (髄膜炎菌性髄膜炎を除く)		0	0	0	0	0
	無菌性髄膜炎		0	0	0	0	0
	マイコプラズマ肺炎		2	0	1	0	6
	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)		0	0	0	0	0
	感染性胃腸炎 (ロタウイルスに限る)		0	0	0	0	0

★★:流行中 ★:やや流行中 ◎:増加 ○:やや増加 →:変化なし ↓:やや減少 ↓↓:減少

2 全数報告対象疾患(6件)

病名	性	年齢層	診断(検査)方法	病名	性	年齢層	診断(検査)方法
結核	男性	30歳代	画像診断	結核	女性	40歳代	病原体遺伝子の検出等
結核	男性	60歳代	病原体等の検出等	結核	女性	70歳代	IGRA検査
結核	男性	70歳代	IGRA検査等	侵襲性肺炎球菌感染症	女性	60歳代	病原体の検出

*第2週は、結核5件(6)、侵襲性肺炎球菌感染症1件(1)の報告があった。

※ ()内は2017年の累積件数。但し、累積件数は速報値であり、データが随時訂正されるため変化します。

定点当たり報告数 第2週のコメント

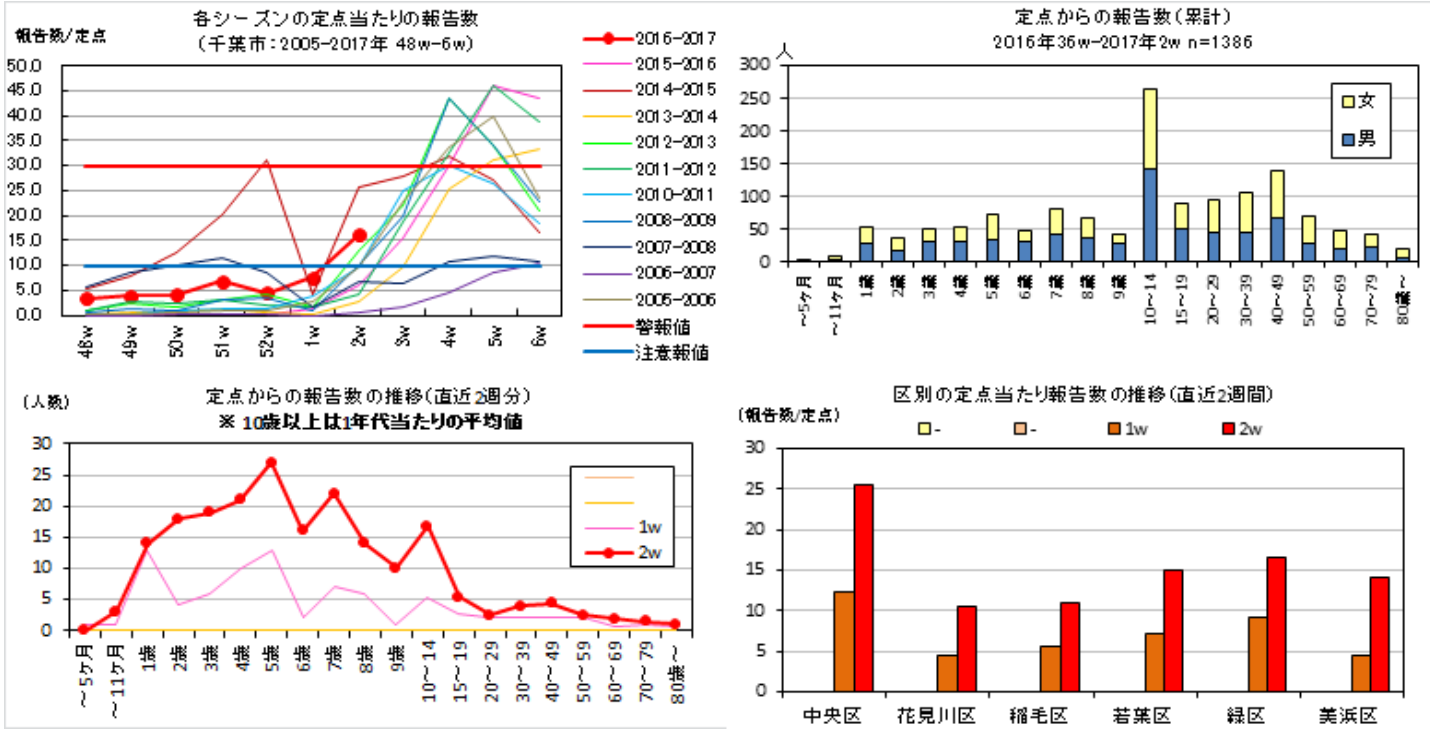
<インフルエンザ> 前週より増加し16.14となり、流行発生注意報基準値を上回った。過去10年の同時期と比べると多い。
<流行性耳下腺炎> 前週より増加し0.56となった。過去10年の同時期と比べると多い。

■ トピック ■

＜インフルエンザ＞

全国レベルの2017年第1週は、流行発生注意報基準値(10.0/定点)を上回り、過去10年の同時期と比べるとやや多めとなっています。都道府県別では、岐阜県、秋田県、愛知県に多く報告されています。千葉県は全国レベルより多めとなっています。千葉市の2017年第2週は、前週より増加し16.14となり流行発生注意報基準値を上回りました。過去10年の同時期と比べると多くなっています。区別の発生状況は全区で流行発生注意報基準値を上回っており、中央区(25.5/定点)で最多で、同区の10歳代前半で最も多く、次いで30歳代及び40歳代で多く発生報告があり、一年代あたりでは5歳及び7歳で最も多く発生報告がありました。今シーズンである2016年第36週から2017年第2週までの累積報告数(n=1386)によると、性別では男性が51.3%(711名)、女性が48.7%(675名)で、一年代当たりの年齢階級別では7歳(5.8%:80名)、5歳(5.3%:74名)、8歳(4.8%:67名)の順に多くなっており、20歳未満は全体の62.5%、10歳未満は全体の36.9%となっています。

※2009-2010年のパンデミックは割愛しています。



＜流行性耳下腺炎＞

全国レベルの2017年第1週は過去10年の同時期と比べると多くなっています。都道府県別では、新潟県、山口県、和歌山県の順に多く報告されています。千葉県は全国レベルより少なめとなっています。千葉市の2017年第2週は、前週より増加し0.56となり、過去10年の同時期と比べると多くなっています。区別の発生状況は、中央区(1.0/定点)で最多で、同区の4歳及び6歳で発生報告がありました。2017年第1週から第2週までの累積報告数(n=18)によると、性別は男女同数(共に50.0%:8名)で、年齢階級別では4歳(22.2%:4名)が最も多くなっています。

